

ベトナム子供基金

〒113-8642

東京都文京区本駒込2-12-3

アジア文化会館内

TEL:03-3946-4121 (代)

FAX:03-3946-7599

ベトナム青葉奨学会

QUY HOC BONG LA XANH

c/o TRUNG NHAT NGU DONG DU

43D/46 Ho Van Hue, Phu Nhuan

Ho Chi Minh, Viet Nam

TEL:84-8-8477359 FAX:84-8-8477527

メコンデルタ洪水被害 緊急支援のお願い

ベトナムのカンボジア国境にあるロンアン、ドンタップ、アンザンおよびキエンザンの4省では8月末から9月までの洪水で、これまでに約3万世帯が被災し、死者も200人以上にのぼっています。死者の90%以上は子供で、死因は溺死とのこと。

ホーチミン市の青葉奨学会では緊急支援として、高橋佳代子さんのレポート(2頁)にあるように、義援金と水の浄化薬の緊急支援を行いました。だが、ベトナム子供基金でも支援方を検討しました。われわれベトナム子供基金にできることで、ベトナムの子供たちのためになり、ベトナムの人々に役立つものをとということで、青葉奨学会とも相談したところ、「避難所兼学校の建設」を援助しようということになりました。

日本のように、いざというときのための避難所がベトナムにはないそうです。「避難所兼学校の建設」は意義のある援助になるはずです。

みなさまの支援をお願いします。支援の経過につきましては、この「ベトナム子供基金通信」とホームページ(<http://www.yk.rim.or.jp/vnr/kodomo/kodomo.html>)で随時報告していきます。



口座名義：ベトナム子供基金・緊急支援

郵便振替：00170-5-18054

銀行振込：富士銀行駒込支店 普通預金 1602525

メコンデルタ洪水レポート アンザン省フービン村を訪ねて

日 時：2000年9月28日

天 候：晴れ時々スコール

行 程：ホーチミン市→ロンアン省タンアン→キエンザン省カイライ→ミートゥアン橋（ティエンザン川）→ヴィンロン省ヴィンロン→カントー省オーモン→ロンスエン省ロンスエン→フービン村

参加者：ドンズー日本語学校事務局・ハイさん、学生4人、日本語教師・小暮さん、青葉奨学会・高橋の7名

なぜ洪水の被害が起こるのか

8月の末からメコンデルタ地方では4年ぶりの深刻な洪水の被害に見舞われた。メコンデルタ地方には全部で12の省がある。被害のもっとも深刻な地域は、ロンアン、キエンザン、ドンタップ、アンザンの4省である。

この4省はメコンデルタ地方の北部に位置し、カンボジアとの国境に接している。現在メコン川の上流国であるラオスとカンボジアで洪水が起きており、その増水した水が下流のメコンデルタ地方へ一気になだれ込んできているのである。海沿いのメコンデルタ地方のように支流がないこの4省では、水は溢れるばかりで、水をはくことができない。洪水の被害は更に1か月以上続くであろうと言われている。9月30日現在、死者213人、洪水の被害家族は約3万世帯に及んだとの政府発表があった。この死者213人の90%以上は子供で、死因は溺死であるという。

洪水に見舞われた村を訪ねて

「メコンデルタ地方洪水緊急支援」と書いたシートを車にはり、私たち7名は義援金と水の浄化薬を持って洪水に見舞われたフービン村へ向けて出発した。ホーチミン市から約2時間でキエンザン省のカイライにたどり着くが、既に浸水している。

私たちは国道1号線を走っていた。道はま

だ浸水してはいないが、両側の家々は約30cmほど浸水している。目的地に向かう途中で学生らが、一番被害の深刻なところはロンアン省のモクホアで、水位が4～5mまで上昇し、ほとんどの家が床上浸水状態だと話していた。

国道の両側にある水田には、まったく稲の姿が見えない。不思議に思って聞けば、1mほど水田の水位も上昇しているのだから、見えなくなっているのだよ、と教えてくれた。確かに池か湖のようにしか見えない。1か月後には米の収穫期が来るはずだったが、水に浸かってしまったため、稲穂が腐る前に、農家の人たちは舟を使って刈り取りをしていた。

しばらくして、1つ目の大きな川、ティエン川を最近出来たミートゥアン橋で渡る。2つ目の大きな川、ハウザン川をフェリーで渡り、10時過ぎにやっとカントー省のオーモンにたどり着く。このあたりからは、道路も水に浸かり始めている。道の両脇はほとんど床下浸水の状態で、人びとは小舟で移動している。また猿橋と呼ばれる丸太1本ほどの木を橋にしたものを多く見かけるようになる。

10時40分、一番深刻な被害の出ているアンザン省の省都ロンスエンに着く。この都市はメコンデルタ地方で一番土地が低いため、街全体が浸水状態になっていた。60cm以上の浸水で、バイクはかろうじて動いていたが、転車は引いてしか動けない。私たちは6人用のバンに乗っていたが、もし乗用車だったら引き返す羽目になっていただろう。

洪水がなければ、ロンスエンからチャウドックへ向う道は本当に美しい風景である。1月にこの道を通った私は、左にハウザン川を眺めながら、美しい南国の花々を見て、新鮮な空気を思いっきり満喫したことを思い出した。しかし今日は景色がまったく違う。すべてが川なのだ。土囊を積み上げてあることでかろうじて道路と川の境界線がわかるが、土囊よりも水位が高いところほどここが川なのかまったくわからない。ここでは車とモー



ター付きのボートが平走していた。

こんな中でも、子供たちは無邪気だ。学校から帰る途中に水かけっこをしてふざけたり、

中になって釣りをしている。タイヤのチェーンを使って泳いでいる子供たちも見かけた。

最後にボートに乗り換えて、目的地のフービン村へ向う。ハウザン川は5mほど水位が上昇している。12時30分、フービン村に到着。この村の人口は約15万人。洪水が原因で4人の子供が溺死したようだ。

川沿いでは、完全に川に飲み込まれてしまった家もある。危険なのは、かなり水位が上昇しても、家に留まる事ができればそこに居続けることだ。10cm下が川であろうとも。洪水犠牲者の90%が子供というのは、この状態で、眠った時に落ちる、両親が目を離した隙に落ちてしまうケースがほとんどらしい。も

そこを離れたら、彼らは食べる手段を失ってしまうからだ。彼らが家移ることになるとしたら、新しい家は道路上になる。道ばたでは魚も捕れない。彼らは浸水した家に居続けるしかないのだ。

最初の義援金受け渡し場所は教会だった。住民はみな小さなボートでやってきた。人民委員会の人があらかじめ配っておいた引換証を持って集まってくる。今回私たちが用意したのは全部で165世帯分だ。1世帯に10万ドンのお金と水の浄化薬10粒をセットにして渡す。渡し終わった後にも引換証を持っていない数家族が「私たちにも義援金を」と懇願しに来た。

次は市場と隣接した場所だ。市場は屋根のついた建物の中にあるため、比較的浸水の被害は少ないが、すぐ川のかたわらにあるため、一歩外に出ると60cmほど浸水している。

ここで少し遅い昼食をとる。外国人が珍しいのか、30人ほどの子供がじっと好奇心の眼でこちらを見つめている。外に出てみると数人の子供たちが市場の脇の増水した道路で泳いでいた。やはりたくましい。現在、小学校低学年は休学の状態らしい。

最後の場所は喫茶店の前だった。現在は水が引いているが、80cmほど積み上げられた土嚢が浸水の被害の大きさを物語っている。

現在、ハウザン川は5m水位が上昇している。ボートからも屋根だけになった家が見え、一つも見えた。一緒に同行したアンザン省の公務員の方に「何か解決策はないのか？」と聞くと「家を高く作ること」という答えが返ってきた。洪水の原因は上流のメコン川地域にあるので、なかなか簡単に解決はできないらしい。政府や各省も義援金や食料援助を行っているが、追いつかないのが実情。車で支援に行く事が出来ない地域もたくさんある。何人かに「今必要なものは何ですか」とたずねると、「お金、食料、小船」という答えが返ってきた。小舟だったら40万ドンで購入できるらしい。浸水してだめになった家は、新しく立て直すと100ドルほどの経費がかかるらしい。

3時40分、受け渡しをすべて終え、再びボートから車に乗り換えてホーチミン市への帰途に着く。水が新たに浸水しているところや、少し引いたところもある。ホーチミン市に着いたのは夜中の12時。全員ぐったりしていた。**支援のお願い**

初めて洪水の被害に見舞われた地域を訪ねました。ロンズエン市では雨も降っていないのに水が溢れています。「水が引くのは1か月先だ」とも聞きましたが、その後の被害にあった住民の生活は厳しくなることは明らかで

す。日本の皆様に協力そして支援をお願いし

メコン河開発メーラサービスより

以下は、メコン・ウォッチ（メコン川流域の開発と環境の問題に取り組む NGO。1993年設立。

URL=<http://www.path.ne.jp/~mekong-w/>）のホームページより転載したものです。

メコン河で大洪水、犠牲者200人超に 9月20日付けのロイターは、ベトナムのメコンデルタで過去数十年で最悪の洪水となっており、3省以上で少なくとも39人がデング熱で死亡したと伝えた。カンボジアで増水したメコン河、モンスーンの雨が複合的に影響。最も被害が大きいのはカンボジア国境の An Giang、Long An、Dong Thap の3省。それぞれ18人、7人、14人が死亡、ほとんどが子ども。国際赤十字連合（IFRC）ベトナムの代表はデルタでの豪雨とカンボジアでの雨が複合的に影響していることだと述べている。更に今月末の南シナ海の高潮で、メコン河の水が海に出られなくなると被害が拡大すると懸念されている。IFRC の調べでは、浸水した世帯は50万を超えた。避難民たちは食料と水が不足している。洪水のレベルはデルタで217人の犠牲者を出した96年を超えているが、適切な救助作業が被害を小さくしていると見られる。また、カンボジアでも過去最悪の洪水で120人の犠牲者と農地の冠水被害に直面。タイでも少なくとも29人が死亡し、北部・東北部の6万人余りが避難している。

国連機関がメコン河の洪水の原因は森林伐採であると非難（バンコク9月22日=ロイター）

9月22日金曜日、国連機関が、森林伐採こそがここ1ヶ月インドシナ半島とメコンデルタに大打撃を与えた洪水の原因であると述べた。

国連アジア太平洋経済社会委員会（ESCAP）は声明の中で、多くのアジア諸国において、森林は1995年から25%、1945年から70%減少したと指摘した。ESCAP は洪水の他の原因として、河道や排水溝の減少、氾

ます。（高橋佳代子）

濫原や湿地の埋め立て、都市・住居地域の急速な拡大を挙げている。

インドシナ半島からメコンデルタにかけてのここ1月の豪雨により、カンボジア、ベトナム、ラオスおよびタイにおいて、数百人が死亡し、100万人以上が家を追われた。

ベトナムのメコンデルタの水位は金曜日には安定したが、ここ数十年で最悪の洪水の犠牲者は少なくとも66人に上っており、その多くが子どもである。ラオス農業省は、1978年以来最悪の洪水によって、18,423世帯が影を受け、国中で48,724ヘクタールの耕作地が損害を受けたと報告した。（後略）

ベトナムの洪水犠牲者258人に（ハノイ10月4日=ロイター）ベトナムでの洪水による犠牲者が切れ目なく増えており、国際赤十字は数十万人の被災者への緊急米救援を計画していると水曜日に話した。一方でオーストラリアの空軍はブランケットを空輸すると言われていた。（中略）国際赤十字の John Geoghegan 氏は、およそ400万人がメコンデルタの8つの省で被害を受けたとしている。洪水による犠牲者は水曜日で258人を数え、省の役人によればそのうち205人が子どもだということである。洪水はデルタの上流部では先週徐々にひいてきたが、完全に水がひくのは11月終わりとみられているし、疫病への懸念が持ち上がっている。「農民たちは、コレラやデング熱、また皮膚病に対する薬を必要としている」、最も被害の大きい Dong Thap 省のある役人がそう話していた。ラオドン（労働）紙は200万人がコレラのワクチンを必要としている一方で、厚生省はわずか30万粒しか提供できていないため、政府に対して更に60億ベトナムドン（約43万米ドル）を求めている。